

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①登場人物の行動や気持ちなどについて、考えること。 ②語彙の量を増やすこと。 ③習った漢字を文や文章の中で使って書くこと。	①物語文を読んで内容を説明したり、考えたことを伝えあったりする言語活動を増やす。物語全体を通して、叙述を基に登場人物の行動や気持ちを考える授業を展開する。【対話・表現】 ②日々の授業の中で辞書の活用を増やす。様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う。読書を推進する。【対話・発見】 ③文や文章を書く時には、学習した漢字を使う習慣が身に付くように指導する。漢字辞典を利用して調べる活動を取り入れる。繰り返し練習する時間をとる。【表現】	B	B
算数	①四則計算を確実に処理すること。 ②問題場面を読み取り、式や図に表すこと。 ③図形の意味や性質を理解すること。	①四則計算の習熟を図る。【表現】 ②問題から必要な数値を読み取り、問題場面的に確にとらえ、問題解決する力を培う指導の充実を図る。【発見・決定】 ③図形の意味や性質を理解させるために、用語を指導する。また、図形を弁別したり作図したりするときに、学習した用語を使って説明する活動を意図的に行う。【対話・表現】	B	B
理科	①観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③問題解決の見通しをもち、予想を立ててから観察・実験を行うこと。	①新出の器具や観察・実験方法、留意点について確認する。【発見】 ②問題、予想に立ち返りながら、考察の視点を確認する。【対話・表現】 ③単元を貫く学習問題を立て、何を解決するための活動なのかを意識させる。【対話・決定】	B	B
社会	①課題に応じて適切に資料を読み取れること。そして、課題解決に活かすこと。 ②調べ学習において、必要な資料を探し出せること。そして、その中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①まず、資料を正しく見る視点(数値、単位等)を共有する。次に、資料を読み取る視点(比較、変化、類似等)を共有する。その際、児童同士の交流をととして、いろいろな考え方に気付かせる。また、ICT 機器等を活用し、視覚的に見やすく共有できるようにする。【発見・対話】 ②キーワードをもとに本を選んだりタブレットで検索したりするとよいことを伝え、できるようにする。活用の際は、引用の方法、出典の書き方について、国語科の学習内容と絡めて指導する。【発見・表現】	B	B
音楽	①互いの演奏を聞き合いながら、自分の演奏の工夫をする。 ②自分のパートと友達のパートの音色の重なりを聴き合って合わせること。 ③リコーダーの技能を身に付けること。 ④演奏すること、表現することの楽しさを知ること。	①ICT 機器を活用し、友達の演奏に耳を傾け、自分の演奏と友達の演奏を比較したり、考えたことを友達と伝えあったりしながら演奏を工夫する活動を行う。【発見・表現】 ②みんなの声と合わせて歌ったり、他のパートを聴いたりして歌う活動を行う。【対話】 ③楽器の基本的な奏法を、いろいろな教材を通して繰り返し練習し身に付けさせる。【発見・決定】 ④演奏する楽しみ、表現する楽しみを味わえるような教材や活動を工夫し、子供たちが笑顔で音楽を楽しめる授業を行う。【表現】	B	B
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを理解すること。 ②主体的に表現や鑑賞の活動に取り組むこと。 ③目標達成のために計画的に進める力を身に付けること。	①実物を用いた演示や ICT 機器を活用して、分かりやすい資料や掲示物の充実を図る。【発見】 ②児童の興味・関心、生活などと題材を関連付け、主体的に活動する態度を育てる。【表現】 ③活動のポイントや時間配分を掲示し、見通しを立てる力、計画的に進める力を養う。【決定】	B	B

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。	①ICT 機器を有効に活用し、自分の体の動きを見 ることで、より正確な動きを身に付けられるよ うにする。【対話】	B	B
	②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動 方法を正しく選択できること。	②段階的に技能を習得できる場を設け、習熟に応 じて、児童が自分に合った運動を選択できるよ うにする。【表現】		
	③毎時間の運動量に個人差があること。	③コーディネーショントレーニングなどの運動 を継続的に行う。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていない
で、2学期末、年度末に評価する。